

5 アクション② 脱炭素化技術のイノベーション

- 2030年に向けて、脱炭素化に資するコア要素技術のイノベーションを推進していきます。
- 2030年以降は、国内・海外の再エネ電源も活用した水素の製造・直接利用、熱需要対応としてのメタネーション※1等の利用・導入を進め、IoT・AI等によりCO2ネット・ゼロに資する各手段を組み合わせ活用していきます。

CO2ネット・ゼロに向けたロードマップ

オープンイノベーションも活用した
コア要素技術開発

水素製造技術



燃料電池高効率化



CO2分離・ 回収技術



CO2ネット・ゼロ
への寄与度

他企業・大学・研究機関
×

各手段を組み合わせ活用

水素・メタネーション等の
利用・導入

超高効率燃料電池の導入

CCUSの導入・活用

再エネ電源の最適運用・制御

天然ガス高度利用

CO2
ネット・ゼロへ

現状

2030年

2050年

※1) メタネーション：水素とCO2を合成したカーボンニュートラルなメタン